学校づくり・地域づくりに関わるすべての皆さんへの情報紙

きょうどう No.3

R6. 7月
津山教育事務所 生涯学習課
義務教育支援課

PTA等指導者研修会を開催しました！

６月２７日（木）にグリーンヒルズ津山リージョンセンターにおいて、ＮＩＴ情報技術推進ネットワークより嶋田亜紀氏をお招きし、**「ネット・スマホのある時代の子育てについて」**と題して、研修会を行いました。

管内の各学校園から保護者等が参加して、子どもに人気のアプリで危険性の高いものや多くの参加者の方も知らなかったＳＮＳによる情報拡散について教えていただきました。またＬＩＮＥを安全に使うための設定を教えていただき、参加者はその場で自分のスマホの設定を確認しながらお話を聞きました。

NIT情報技術推進ネットワーク
取締役　嶋田亜紀氏

講演内容より

○スマホ・ネットが当たり前にある時代になった。「使わないように」ではなく、「どうやって使うのか」「誰と使うのか」「どこで使うのか（使う場所）」を考えて利用していくことが大切。

○スマホ・ネットを「長時間使うことがいいと思っている」子どもはいない。ただその時間を制限されると何をして過ごしていいかわからない子どもが多い。

○スマホを取り上げるのではなく、ネット以外の体験をする仕掛けが必要。五感で体験することが大切。

○法律が厳しくなり、刑事事件や民事事件になるリスクが高まっている。

○ネットに情報をあげる前に情報モラルとして、「出来ること」と「していいこと」を改めて考える。

参加者の感想

◆知らなかったことをたくさん教わりました。まずは大人から意識を変えて家庭の中で少しでも疑問に思うことがあればその都度話をしていきたいと思いました。大人が楽しい環境を作って、少しでもインターネットから離れる時間をつくってあげることはとても大切だと思いました。

◆撮影罪という言葉や、小中高生で流行・トラブルがあるアプリ等知らないことがたくさんありました。ただ、子育てをしていく中で「知らなかった」では済まされないことも多々あるので情報を待つだけではなく、自分でつかみに行くことが大切だと感じました。

◆知らないアプリがいっぱいあり、それぞれが連携してつながっていることを知り驚きました。

◆今日はとても身近な内容だったので危機感を持てました。LINEの設定方法は、私もまったく設定ができていなかったので、とても勉強になりました。学校に持ち帰ってメディアに関する知識を反映させていけたらと思います。

ＰＴＡの研修を充実させましょう！

保護者同士が子育てについて考えたり、子どもに関する新たな情報に触れたりすることは大切なことです。ＰＴＡ等研修会などで交流して考えたり学んだりしたことを、その場だけのものにしてしまうのではなく、ぜひ、各学校園においての活動充実に活かしてください。